

## 令和4年賃金構造基本統計調査から読み解く

### 産業ごとの年収に占める賞与比率の実態

セレクションアンドバリエーション株式会社

コンサルタント 山田 沙樹

#### 【セレクションアンドバリエーション オフィシャルレポート要旨】

これまで多くの日本企業では夏冬賞与の支給が当たり前とされてきた。しかし近年、慣例的な賞与制度を見直す企業が増加している。経団連の調査によれば、2016年から6年連続で業績連動方式を導入している企業は5割を超えていることが報告されており、日本企業でも、業績連動型賞与を取り入れる企業がもはや主流となりつつあると言える。

セレクションアンドバリエーションは、令和4年賃金構造基本統計調査をもとに、16種類の産業における平均年収および年収に占める賞与比率について調査した。調査の結果、年収が高い産業では年収に占める賞与比率が高い傾向があることが明らかになった。

#### 目次

1. 産業別の平均年収
2. 年収と賞与比率の関係性
3. 年収に占める賞与比率を見直す意義

#### 1. 産業別の平均年収

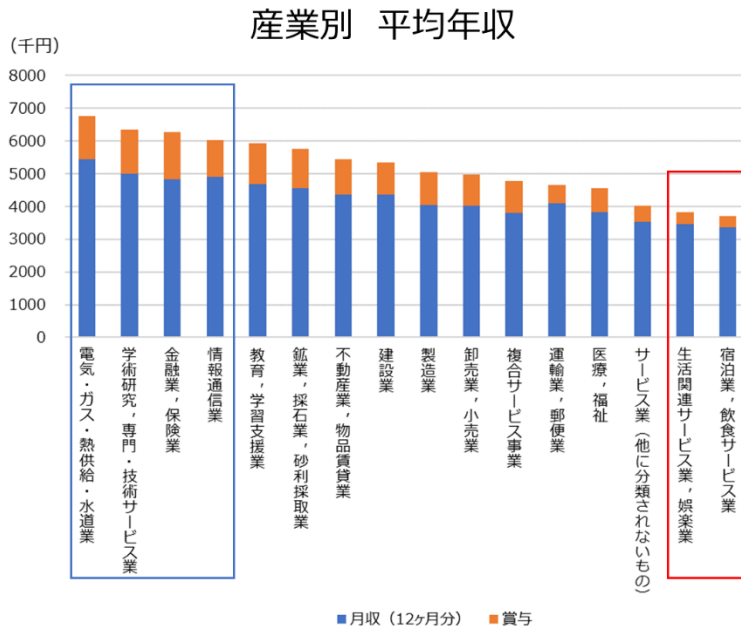
16種類の産業のうち、平均年収が600万円を超える産業は、上位から順に「電気・ガス・熱供給・水道業」で676万円、「学術研究、専門・技術サービス業」で633万円、「金融業、保険業」で627万円、「情報通信業」で602万円であった。

平均年収が400万円を下回る産業は、「宿泊業、飲食サービス業」で370万円、「生活関連サービス業、娯楽業」で381万円であった。

なお、年収は、 $\{(月収 \times 12) + 賞与\}$  として算出した。月収および賞与は、「令和4年賃金構造基本統計調査」における以下の給与データを用いた。

	給与データ	定義
月収	きまって支給する現金給与額	本給、職務手当、精皆勤手当、通勤手当、家族手当などが含まれるほか、超過労働給与額も含んだ額
賞与	年間賞与その他特別給与額	1年間の賞与、期末手当等特別給与額

2023年4月28日

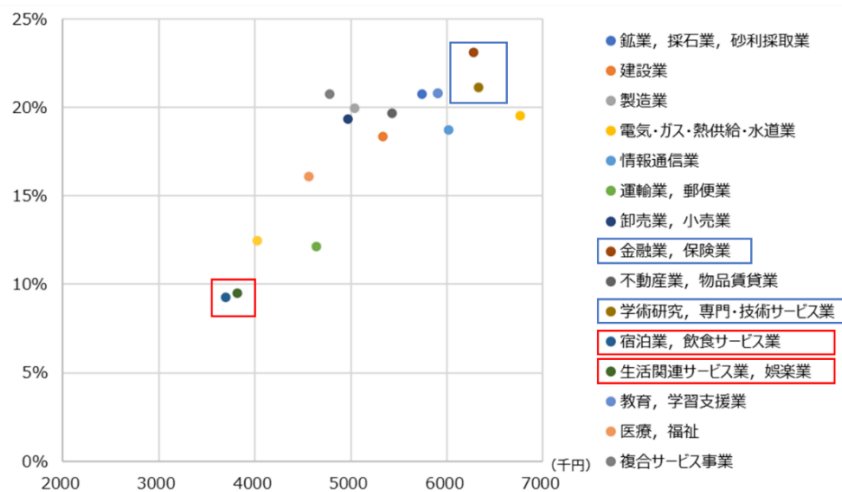


## 2. 年収と賞与比率の関係性

産業別の年収と賞与比率の関係性を分析した結果、「金融業、保険業」における賞与比率が最も高く、23.1%であった。次いで「学術研究、専門・技術サービス業」が21.1%であることが分かった。

一方、16種類の産業のうち、賞与比率が最も低い産業は「宿泊業、飲食サービス業」(9.3%)、2番目に低い産業は「生活関連サービス業、娯楽業」(9.5%)であることが判明した。

### 産業別 年収と賞与比率の散布図



2023年4月28日

### 3. 年収に占める賞与比率を見直す意義

本レポートでは、16種類の産業における年収構造を確認した。その結果、平均年収と賞与比率の関係性について、以下2点が明らかになった。

- ・平均年収が600万円を超える産業のうち、「金融業、保険業」および「学術研究、専門・技術サービス業」では、年収に占める賞与比率が20%以上である
- ・平均年収が400万円を下回る「宿泊業、飲食サービス業」および「生活関連サービス業、娯楽業」では、年収に占める賞与比率が10%未満である

上記より、年収が高い産業では、年収に占める賞与比率が高い傾向があると言えるだろう。

自社の適正な年収構成の実現に向けて、まずは自社が属する産業の平均年収や賞与比率を確認したうえで、自社の報酬水準の見直しを検討していくことが重要だと考えられる。

また、自社の報酬水準の見直しにあたり、非金銭報酬も併せて検討することが必要だと言える。いくら報酬水準が高くとも、業務内容や業務量の改善がなされない組織や、心理的安全性が担保されていない組織では、人材の定着はあり得ない。報酬水準の見直しは比較的中長期的な時間を要する場合が多いが、非金銭報酬対応は原資を伴わず即座に着手できるものも多い。

セレクションアンドバリエーションでは、自社が目指す方向性と紐づけながら、人事戦略を策定し、社内の報酬水準や非金銭報酬を検討していくことが、企業の成長にとって重要な課題であると考えている。

セレクションアンドバリエーションが提供する人事制度設計についてはこちらから。

<https://sele-vari.co.jp/service/>

<参考資料>

- ・ 日本経済団体連合会 「2021年夏季・冬季 賞与・一時金調査結果」  
([https://www.keidanren.or.jp/journal/times/2022/0602\\_13.html](https://www.keidanren.or.jp/journal/times/2022/0602_13.html))
- ・ 厚生労働省 「令和4年賃金構造基本統計調査」  
(<https://www.mhlw.go.jp/toukei/itiran/roudou/chingin/kouzou/z2022/>)

以上